



あくまでも“目標で自分を動かせ”

「目標を定める」ことの意義について話をしたいと思います。

今年のノーベル物理学賞に赤崎勇教授、天野浩教授、中村修二教授の日本人3人が選ばれました。青色発光ダイオードの研究で功績を上げ受賞したことは、新聞などを読んで皆さんもよく知っていることと思います。

そのうちの一人中村修二教授の座右の銘は、「あくまでも“目標で自分を動かせ”」という言葉です。実際の言葉はもう少し長く、「何と言われようと、自分がやれると思ったのならやれると信じて進むことだ。『あくまでも“目標で自分を動かせ”なのだ。』」というものです。

この言葉は、中村教授が周りから「精度が高い青色LEDは発明できない。」と言われ続けたにも係わらず、自分の目標を信じて世界初の大発明を成し遂げたことについて、語ったものです。

皆さんは、日々の勉強や部活に目標を持って一生懸命に取り組んでいると思いますが、思うような成果がでなくて、辛さを感じ、途中でくじけてしまうことがあるかもしれません。しかし、そのような辛い状態から自分を救うことができるのは、他のだれでもなく自分自身なのです。「達成したい目標」がゆるぎないものであれば、多少の辛いことや苦しいことがあっても、それをエネルギーとして自分を奮い立たせ頑張ることができるのです。

そのような意味で、「達成したい目標を定める」ことが何より大事になってくるのです。

もうすぐ2015年がやってきます。「一年の計は元旦にあり」という言葉があります。これまでの自分をさらに一步成長させるため、「達成したい目標」をしっかりと定め、気持ちを新たに新年を迎えましょう。第2学期終業式校長式辞から抜粋



2014 顛一廳鑑蛭 丸数 数
左から
赤崎 勇 終身教授
(名城大学)
天野 浩 教授
(名古屋大学)
中村 修二 教授
(カリフォルニア大学)
アルフレッド・ノーベル



生徒の皆さんへ

1日24時間だけは誰にでも平等に与えられています。

その時間を有効に活用し、平成26年を振り返り、目標をしっかりと見定めて、新しい年を迎えてください。1月8日(木)意欲に満ちた皆さんに会えることを期待します。

保護者の皆様へ

この2学期も本校の教育活動に対し、保護者や地域の皆様方にご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、3年生にとっては、卒業まで3カ月を切っています。来年1月には私立高校の入試が本格的にスタートし、3月の県立高校入試まで、息の抜けない状況が続きます。

私達も「15の春」を笑顔で迎えらるよう、全職員で取り組んでいます。ご家庭でも、お子様が充実した冬休みを送れるようバックアップをお願いします。

2 学期の反省と課題 3 年 桑原 大和

僕の2学期が充実していたことの一つとして、一つの物事に対して責任をもって最後までやり切ることができたことです。部活動や文化祭でもたくさんの役割をこなしてきました。しかし、一方ではその間勉強をほったらかしにし、家で勉強することはほとんどありませんでした。部活動や文化祭の準備などを理由に、勉強から逃げていたのです。勉強から逃げ続けていた僕でしたが、気が付けば文化祭が終わり、部活動も終わってしまっていました。いよいよ受験も間近となり逃げ場を失った僕は、部活動や文化祭をやり切ったように勉強に集中しようと決心しました。

文化祭後には徐々にではありますが、頭が切り替わりました。すると、それまで部活動と勉強を両立できなかった自分に怒りを覚えました。それからは、家に帰る時間も早くなったので、家で2～3時間集中して勉強するようになりました。

冬休みには、今までの遅れを取り戻す必要があります。毎日7時間以上の勉強を目標に、苦手な数学と英語の克服を中心として、その他の教科にも取り組みたいと思います。

3学期は、受験生であるという自覚を持ち、余裕をもって最後の思い出作りと受験勉強の両立ができる学校生活を送りたいと思います。 ※2学期終業式での発表です。 前半省略してあります。

栄光を讃えて 文化面での活躍も光りました！

- 人権作文コンテスト福島大会協議会 奨励賞 1年 大槻真凜 宗像涼太
3年 菊地里菜 鈴木夢奈
- 明るい社会づくり作文コンクール 県会長賞 2年 関 陽 地区会長賞 3年 中澤亜美
佳作 3年 中潟彩咲希
- J A 共済福島県小・中学生書道コンクール 佳作 1年 橋本優希 奨励賞 3年 中潟彩咲希
- 岩瀬地区音楽祭創作の部 金賞 1年 奈良坂憲芳 銀賞 2年 尾形瑠那 西牧直美
- 第35回FCT児童画展 入選 2年 阿部愛海
- 生命保険中学生作文都道府県別生命保険文化センター賞 佳作 2年 物江陽祐
- 第6回全国理容美容学生技術大会ヘアデザイン画部門 敢闘賞 2年 阿部愛海
- 須賀川市文化祭文芸大会俳句の部青少年の部 佳作 1年 鈴木楽人 佐久間遼
- 第42回アンサンブルコンテスト県南支部大会
金賞 サクソフォン四重奏(長田佳子 斎藤未菜 今井葉月 松川未悠) 銀賞 打楽器四重奏
- 岩瀬地区書写コンクール 岩瀬教育研究協議会会長賞 2年 阿部愛海
推薦 2年 佐藤怜奈 斎藤未菜 柳沼里於 白岩結菜 3年 山寺柚子葉 有馬怜奈 野崎未来 石田ほのか 菊地里菜 矢内ひらり 小池果穂 中澤亜美
- 福島県声楽アンサンブルコンテスト 銀賞 Bチーム(男性) 銅賞 Aチーム(女性)
- 福島県中学校インドアソフトテニス大会 男子団体 第3位 東北大会出場
団体メンバー 2年 ミヒニャック瑠偉 佐藤博哉 芳賀勇斗 大木翔太 河村優希 遠藤陸
1年 曾田遥輝 吉田英斗

東北大会での活躍を！ ソフトテニス団体メンバー
 12月13日(土) 田村市総合体育館で行われた「第24回福島県中学インドアソフトテニス大会」で、男子ソフトテニス部が「3位」(代表決定戦で勝利)になり、「東北大会出場」を決めました。
 東北中学校ソフトテニスインドア大会は、来年1月10日(土)、11日(日)に「山形県・酒田市営国体記念体育館」で行われます。東北大会での活躍を期待しています。



数学の問題 「1.01の法則」と「0.99の法則」を知っていますか？

「1.01の法則」

$$1.01 \text{ の } 365 \text{ 乗} = 37.8$$

(1.01×1.01×1.01×・・・と1.01を365回かけると37.8になる)

「0.99の法則」

$$0.99 \text{ の } 365 \text{ 乗} = 0.03$$

(0.99×0.99×0.99×・・・と0.99を365回かけると0.03になる)

要約すると「1.00」をベースとして考えた際、1.01のようなちょっとした努力や成長でも365日積み重ねると大きな力になるということです。逆に0.99のようにちょっとしたでもサボって積み重ねていくと何も生み出さないと教えるのです。たった0.02の違いでここまで差が出てくると言うのは、人生においても学ぶべき結果なのかもしれません。継続は力なりなのですね！

ちなみに3年間1095日だと 答えは53939と0.0000166となります。

※ 三木谷浩史著「成功のコンセプト～Principles for Success」(幻冬舎文庫) 参照